

「食・植 おもてなしの間」：給仕室：階段室 内装工事費概算表

仮設工事	撤出し 養生 内部足場 養生ゴミ処分等 一式	¥145,000
木工事	大工手間 床壁天井 間仕切り 階段等造作工事 一式	¥882,000
内装仕上げ工事	畳 縁甲板 フローリング タイル じゆらく 塗装 砂利敷等工事一式	¥430,800
家具工事	格子間仕切り 網 テーブル等 一式	¥300,000
建具工事	引戸 サッシ サッシ戸 トップライト等 一式	¥655,000
設備工事	電気配線水工事 流し台 照明器具 フラインド等一式	¥770,000
合計		¥3,182,800

構造:RC造 ※基礎 躯体 外壁 屋上テラス 外溝工事等は別

「食・植 おもてなしの間」：給仕室 仕上げ表

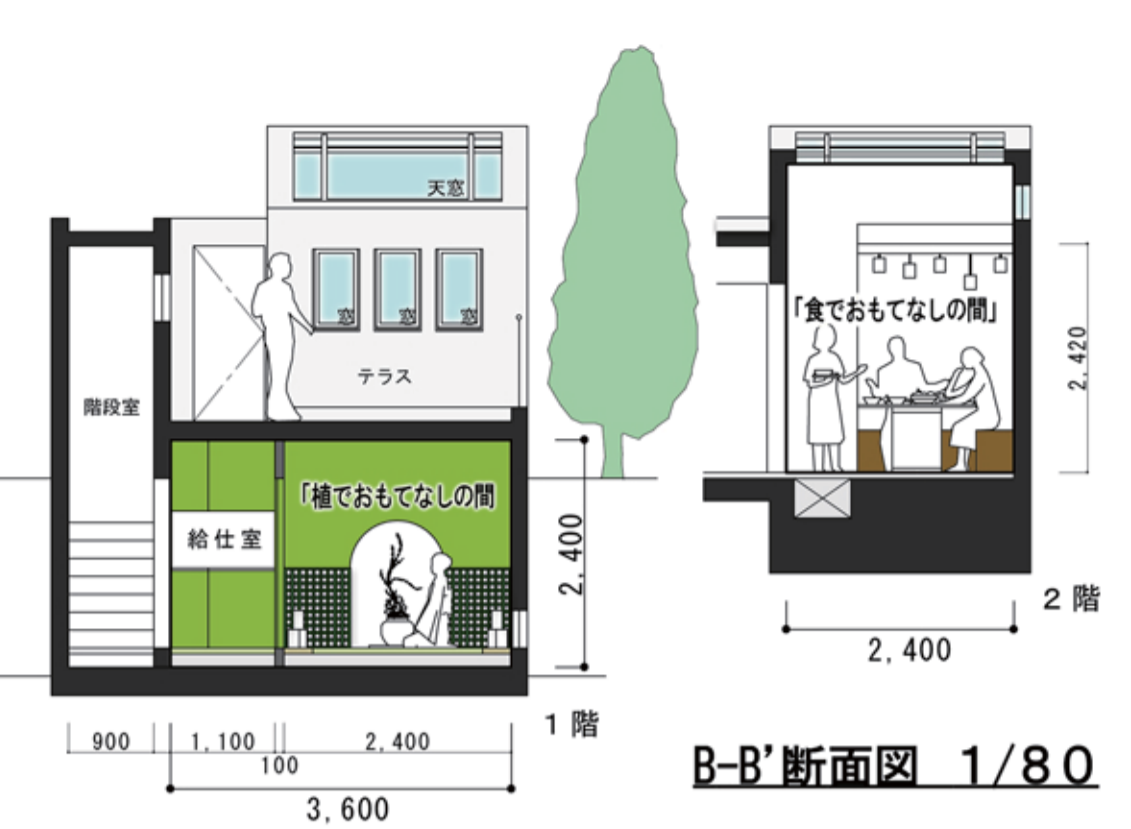
	1階「植でおもてなしの間」	2階「食でおもてなしの間」
床	畳 一部縁甲板 CF(給仕室) アプローチ：白玉砂利 置石	フローリング(白色)
壁	じゆらく壁仕上げ クロス(給仕室) 光の道：上部鏡面金属板・下部塗装	塗装仕上げ(白色) 光の道：一部鏡面金属板
天井	檜板張り クロス(給仕室)	塗装仕上げ(白色)
家具	格子間仕切り(OP塗装仕上げ)	塗装仕上げ(白色) 格子一部・椅子 植OS塗装
備考	トップライトはトップライト用ペアガラスを使用し 高性能の斜熱・断熱機能を有する事 トップライト下部にはブラインドを設置し明るさの調整を行う	

※階段室は1F床・CF 2F床・フローリング 壁天井・塗装仕上げ 階段部分はカーペット仕上げ



「食でおもてなしの間」 月別サブカラーイメージ例

行事や旬の食材・料理に見立てた照明の組合せ表				
1月 正月人日	おせち・七草粥	■	■	■
2月 節分	豆・恵方巻き	■	■	■
3月 桃の節供	ひしもち・ひなあられ	■	■	■
4月	桜餅・いちご・桜鯛	■	■	■
5月 端午の節供	ちまき・たけのこ	■	■	■
6月	うめぼし・さくらんぼ	■	■	■
7月 七夕	そうめん・夏野菜	■	■	■
8月	スイカ・かき氷・タコ	■	■	■
9月 仲秋の名月	里芋・サツマイモ・栗	■	■	■
10月	葡萄・林檎・茸	■	■	■
11月 亥猪七五三	亥の子餅・千歳飴	■	■	■
12月 冬至	ゆず・かぼちゃ	■	■	■



### 見たて遊びの照明器具

2枚の透明アクリル板に和紙を挟んだ10色の照明器具を四季や五節供等の行事に因んだ 食材や料理 植物に見立てる。季節毎にイメージを膨らませながら 楽しく組合せて配置する事で四季によって違った「おもてなしの間」を作りながら 自然光の補助的役割を果たす。

照明器具：LED 電球 260lm 電球色 電池式で移動可能

「食でおもてなしの間」組合せ例  
1月「お正月おせち」赤(海老)黄(きんとん・数の子)鳥の子色(慈姑)etc  
「植でおもてなしの間」組合せ例  
3月「桃の節供」ピンク(桃)黄(菜の花)・5月「端午の節供」紫・濃緑(菖蒲)etc

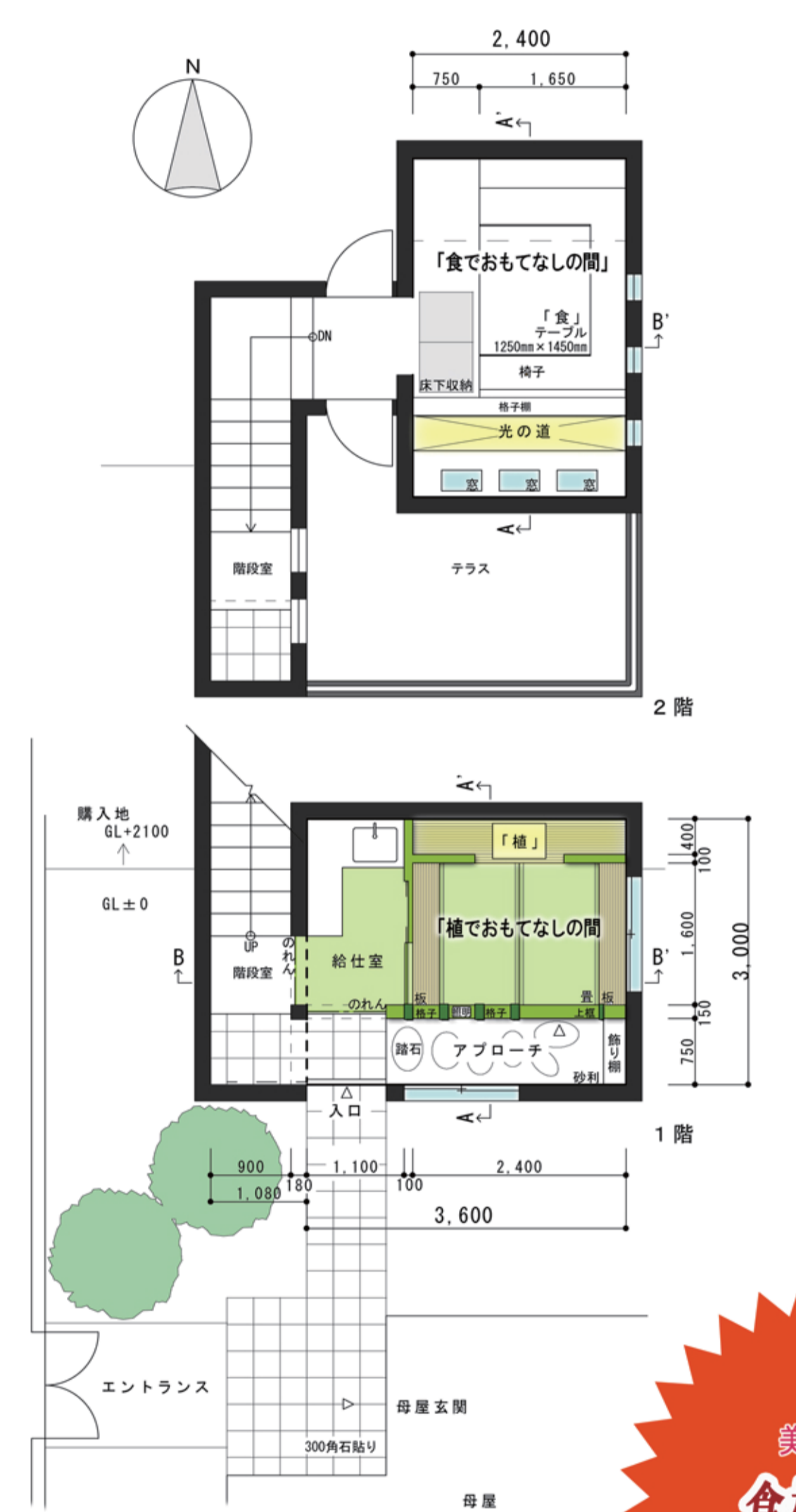
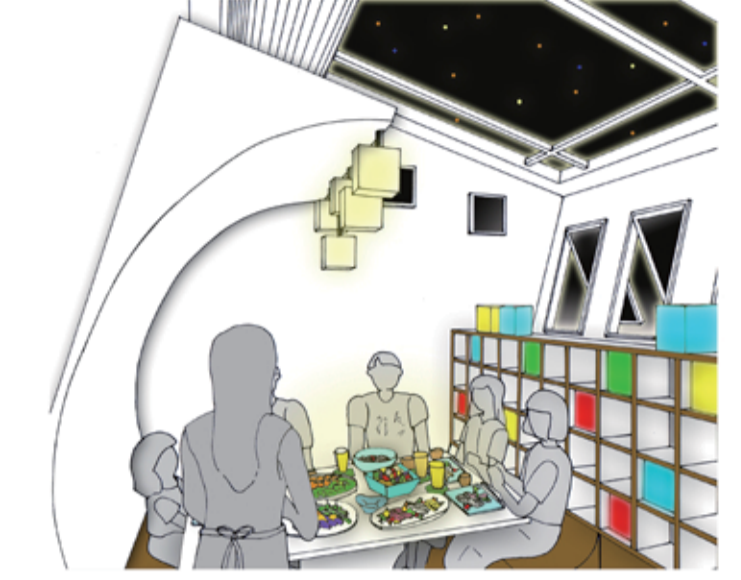


### 「植でおもてなしの間」 月別サブカラーイメージ例

季節や行事に因む植物に見立てた照明の組合せ表

1月 正月人日	松・竹・柳・千両・七草	■	■	■
2月 節分	桜・梅・梅	■	■	■
3月 桃の節供	桃・菜の花	■	■	■
4月	桜・柳	■	■	■
5月 端午の節供	菖蒲・杜若・藤	■	■	■
6月	紫陽花	■	■	■
7月 七夕	笹・梶	■	■	■
8月	朝顔・ひまわり	■	■	■
9月 重陽の節供	菊・彼岸花	■	■	■
10月	コスモス・紫苑	■	■	■
11月	紅葉・銀杏	■	■	■
12月	マユミ・ポインセチア	■	■	■

### 「食でおもてなしの間」 7月七夕



## 日本の四季・年中行事に合わせて味わい楽しむ 「食」・「植」の間

# 二つの「しよく」でおもてなし

庭に隣接する土地の一部を購入する事となり、小さなゲストハウスを新築したいと言うクライアント(兵庫県神戸市在住)の要望に答える。高、購入地は既存の土地より2.1m 高い場所となっている。

- クライアントの要望
- ①季節が変わる毎に 又は五節供等の年中行事に 客人を招いて 趣向を凝らした「おもてなし」をしたい
  - ②季節の食材で作る妻自慢の手料理を客人に振る舞いたい
  - ③庭に咲く草花を生けて、客人と共に愛でる専用の部屋が欲しい
  - ④日中は太陽光を取り入れ、夜は月の明かりや間接照明を楽しみたい
  - ⑤遊び心のある明るい開放的な部屋で、楽しくもてなすのも良い。小さな部屋の中 静寂で風情のあるおもてなしもしてみたい。
- 以上の希望に添って提案した。

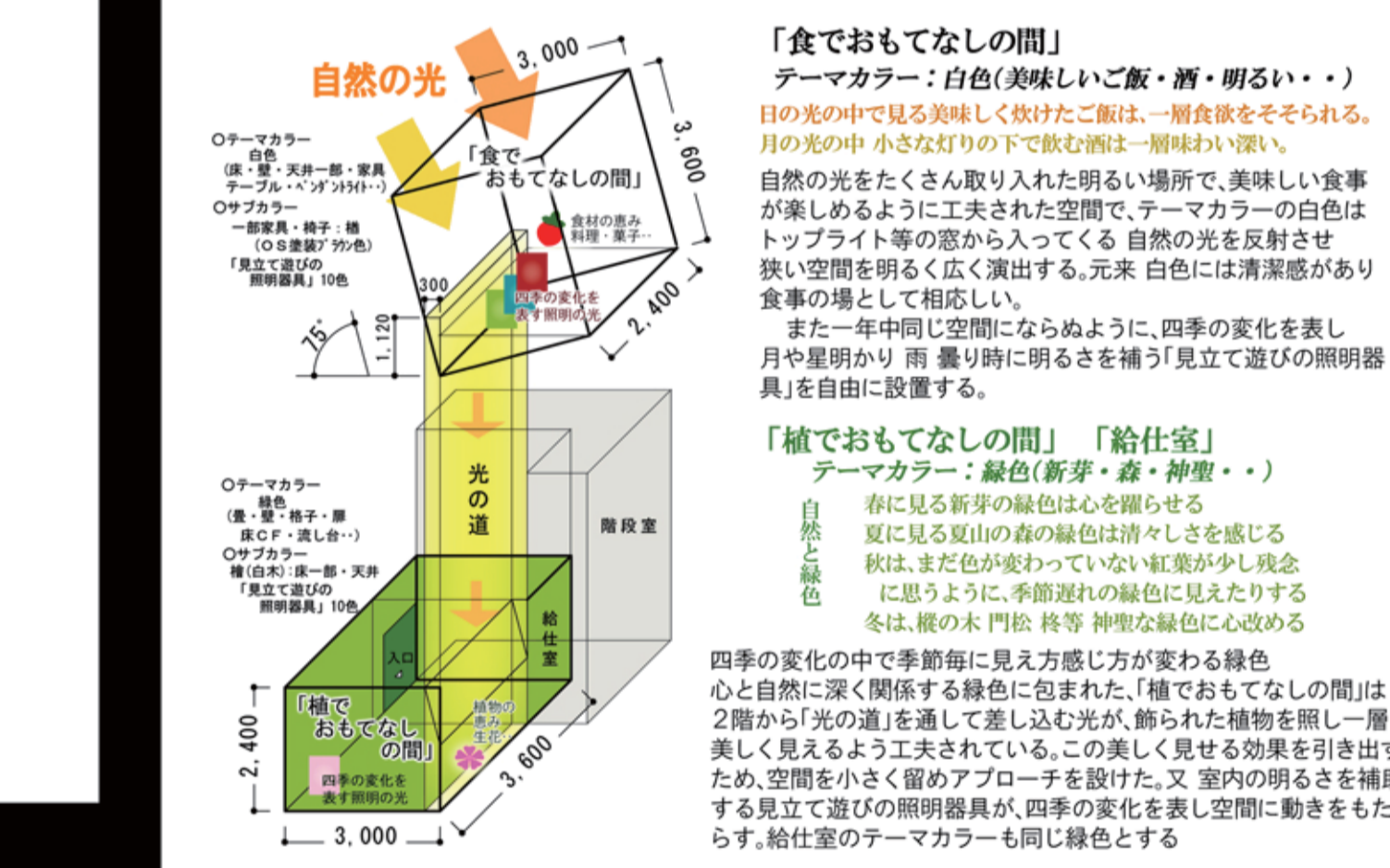
コンセプト

四季を感じ 季節や行事に合わせて 客人をもてなすには旬の食材や植物が欠かせない

そこで 食材や料理でもてなす事を「食でおもてなし」植物でもてなす事を「植でおもてなし」と区別し 季節や行事毎に客人を招いて 食材や植物の恵みを通したそれぞれ最高のおもてなしを 喜んで行う空間 「おもてなしの間」を二室設けた

この空間は 光によって一層美しく美味しく輝いた恵みを 客人と家人が共に 味わい 観賞し 堪能する事で 心通わす大切な場所となる

ゲストハウスは2階建とし 1階に「植でおもてなしの間」(給仕室) 2階に「食でおもてなしの間」を設置する。1階と2階は階段室で繋がれており、2階部屋よりテラスや外部に出る事が可能。二つの「おもてなしの間」は別々に存在するかに見えるが「光の道」が2室を繋げ 光・風・音・香り等が共有される一体の空間であり、それぞれの部屋の演出効果以外に 一方の部屋からもう一方の部屋へと誘う効果や、逆に前に通じた部屋の余韻を残す効果がある。又 音や香りの気遣いが必要で、家人の細部にわたった「おもてなしの心」を表現する効果もある。給仕室は、母屋で作った料理が配膳し易く、植物の水揚げ 花入れの水替えがし易いように どちらの「おもてなしの間」からも 使い勝手の良い、両空間の中央1階入り口正面に設置する。



美味しい料理やお菓子・・・花入れに生けた可憐な草花・・・

食材や植物の恵みを輝かせる 光は 美味しく 美しく 集う人を楽しませる!

